

Science News Letter



ごきげんよう！高3担任で、物理を担当している小田切です！！
私は旅行が好きで、よく一人でも旅にでます。今回は物理もサイエンスも
とくに関係なく（関係各位先生方すいません）、去年私が行ったドイツの旅
行記を勝手に発行しようと思います！
（未成年の皆さんにはわからない話が多いと思いますがゴメンナサイ！！）

そうだ、ドイツにいこう

去年の夏、突然ドイツに行きたくなり、弾丸ひとり旅をしてきました。きっかけは、キリンビール工場の『世界のビールセミナー』に参加したことです。たまたま参加したこのセミナーで、ビールの歴史の勉強と世界の様々なビールの試飲をしました（皆さんも二十歳になったらぜひ参加してみてください！）。

一言でビールといっても、その原材料や作り方、保存方法などは多岐にわたっており、セミナーの先生は試飲が進むごとに顔を赤らめ饒舌になりながら、実際に自分でいった世界のブリュワリー（ビール醸造所）の話をたくさんしてくれました。その話に感化され、これは行くしかないと思えました！

翌日、さっそく旅行会社に行き、旅行会社のお姉さんに相談したところ、ドイツは比較的治安もよく女性の一人旅でも安心だということを知りました。もうすでに7月末で旅行に行ける日数も6日間と限られていたため、その場で即決。二週間後にはドイツに旅立ちました。

ドイツに行くはずが、タイ空港を満喫

旅行の決定が直前すぎて航空券の値段が跳ね上がっていたため、しょうがなく一番安いタイ経由ドイツ行きのタイ航空便を選びました。ドイツに行くのにタイ経由、遠回りじゃない？と思った人も多いでしょう。その通りです。しかもタイで7時間待ち。しょうがないので本場のタイ料理を満喫したり、お土産屋さんの試食を片っ端から試したり、当時流行っていたポケモン探しに明け暮れたり・・・チケット代をケチったため膨大な時間潰しをするはめになりました。もっと早くに旅行の計画を立てておけばよかったです。

タイらしいオブジェが
出迎えてくれた⇒



さて、そんなこんなで無事、ドイツのフランクフルトに到着しました。翌日からさっそく、というかやっとドイツ観光です！

自由旅行の醍醐味

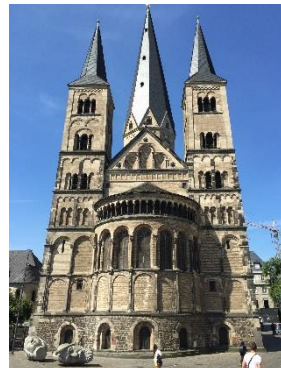
私はツアーに参加するのが苦手なので、基本的に現地のことや移動方法などすべて自分で調べ、自力で移動します。

今回、ドイツで行きたいと思っていたのは大きく2ヶ所。1ヶ所目は、北の方にあるボンとケルンという街です。フランクフルトから高速鉄道に乗り2時間ほどで、まずはボンという街に到着しました。ボンは、ベートーベンが生まれた街だそうで、ベートーベンの生家を見学したり、ヨーロッパらしい町並みを楽しみました。この街での目的は、やはり地ビール。

ドイツ名物プレッツェル
と「ボンシュ」⇒



「ボンシュ」と呼ばれるここでしか飲めない地ビールがあります。午前中に到着し、時刻はランチ時、あまり観光客も多くないようで、昼からビールを飲みたいと一人で来る日本人女性は相当珍しかったと思います。地ビールとプレッツェルというパンを堪能し、お腹が膨れたところで、再び移動し、今度はさらに北にあるケルンという街に行きました。『ケルン大聖堂』は世界史でも出て来る有名な場所だそうで、ここは観光客が非常に多かったです。ケルンでも、ここでしか飲めない地ビール「ケルシュ」を味わいました。



翌日は、フランクフルトから少し南下し、ジンハイムという街まで、2時間以上電車を

乗り継いでいきました。ここでの目的は、「交通技術博物館」です。ここには、広大な敷地に自動車や飛行機、軍用機などありとあらゆる乗り物の展示がありました。特に感動したのは、「コンコルド」と「ツムホフ」という昔の超高速旅客機の本物の展示です！しかも、外から眺めるだけでなく実際に中に入ることができました！



↑今は使われていない、超高速旅客機「コンコルド」

遠足で来たらしいドイツの小学生に混じりながら飛行機の中を駆け巡り、巨大なガレージにある何百台ものビンテージカーを眺め、博物館を満喫することができました。ジンハイムの博物館まで来るツアーはほとんどなく、どちらかというと観光地としてはマイナーな場所なようで、日本人どころかアジア系の観光客も見ることがありませんでした。

自分の足で好きなところに行き、好きなものを食べ、好きなものを見る。これが自由旅行の醍醐味なのです。

世界のグローバル化に感謝

一人で海外に行くとなると、抜群の語学力がなければ・・・と思う人は多いと思いますが、世界の都市はとてわかりやすく、交通網が発達している場所が多いです。ドイツもその一つで、電車の切符は喋れなくても券売機で買え、日本語表示できる機械もあり、乗換え方法までプリントアウトしてくれます。本当に全く英語もわからず喋れないのであればおすすめしませんが、将来自由にお金と時間を使えるようになったら、ぜひ自由旅行にしてみてください！

今になって思う、勉強の大切さ

私が一人でも旅に出れるのは、ある程度英語を読んだり喋る力があるからだと思います。これは、中高時代に英語という科目があったおかげだと思っています。英語の成績が抜群によかったわけではありませんが、普通に高校を卒業できるレベルであれば、ちょっとした旅行なら困ることはありません。今、なんで英語なんて（他の科目でも同様）勉強

しなきゃいけないんだと思っている人は、将来海外に行き、見たことのないものや食べたことのないものに会うチャンスを失うかもしれません！！

と、偉そうなことを言っていますが、私は中高時代に、少しだけ後悔していることもあります。それは、嫌いだという理由で社会科（特に歴史系）を敬遠し続けてきたことです。旅行好きとなり、国内外問わずいろいろな場所に行けるようになると、その場所の成り立ちや歴史に関する知識がなさすぎて、有名なスポットを素通りしていることが多々あります。また、体育やスポーツ大会など身体を動かすことが苦手なほとんど真面目に参加していませんでしたが、長時間歩いたり、長い移動に耐えられるだけの体力は必要だと感じ、あのころもっと真面目に学校活動に参加していればと思うこともあります。学校にいる時間に得られるものは大きかったと、今更ながら思います。

後悔先に立たず、思ったが吉日

なんだかんだツラツラと書きましたが、みんなもぜひドイツに行ってみてね！という話ではありません。やりたいと思ったことや行きたいと思った場所があれば、ちゃんと行動に移してみたい、ということをお伝えしたいのです。私は、自分でできることの範囲を広めるために学校があるのだと、大人になってから思います。学生時代、決して真面目なタイプではありませんでしたが、それで後悔している部分もあるし、後悔してもしようがないから今やれることをやろう、とも思います。

最後に、本(?)の紹介

世の中にはたくさんの旅行雑誌がありますが、定番の一つに『地球の歩き方』というシリーズがあります。一見すると辞書みたいに分厚く、ガイドブックにしては文章が多めですが、私はこのシリーズを選ぶことが多いです。勝手な偏見ですが、写真いっぱい雑誌のようなガイドブックより、『地球の歩き方』片手に空港で出発待ちをしている方がカッコイイ気がします。

と、いうことで、もし一人で海外旅行に行くようなことがありましたら、ぜひこちらの旅行誌を検討してみてください！

